

【学校評価委員会】

令和2年度 学校評価アンケートの集計結果

【回答者】

三田市立狭間中学校

生徒 1年 124名 2年 123名 3年 99名 計346/371名 教職員 27名

保護者 1年 103名 2年 100名 3年 94名 計297/344名 ※保護者は、家庭数として計上

【回答方法】 4段階

A. そう思う B. ややそう思う C. ややそう思わない D. そう思わない

※ABは肯定的な回答 CDは否定的な回答

【項目毎の結果】

1. 学校は、通信などで、学校や生徒の様子をわかりやすく伝えている

%	A	B	C	D
生徒	58.7	37.6	3.2	0.6
保護者	40.7	50.2	8.1	1.0
教職員	44.4	55.6	0.0	0.0

〈保護者の意見〉

HPで学校の様子を知ることができ、とても助かっています。多くの方に見てほしいです。

◇各種通信やホームページへの関心が高いことがわかりました。今まで以上に、教育活動を個人情報に留意しながら掲載するとともに、学校便り等をホームページに掲載するなど、積極的にHPを更新いたします。

2. 授業参観や行事など、学校を開放して生徒の様子を見る機会を設けている

%	A	B	C	D
生徒	52.3	40.2	6.6	0.9
保護者	47.1	44.4	8.1	0.3
教職員	29.6	55.6	14.8	0.0

〈保護者の意見〉

コロナ禍で参観がなく学校の様子を知る機会がなくて残念です。しかし感染症対策をしながら体育大会や校外行事など、子どもが思い出に残る行事をしてくださっていることに感謝しています。

◇今年度はコロナ禍のため、学校を開放する機会があまりありませんでした。来年度は、これまで以上に感染症対策を施しながら、学校開放の機会を検討していきます。

3. 先生は、教え方を工夫してわかりやすい授業を行っている

%	A	B	C	D
生徒	55.9	39.7	4.1	0.3
保護者	18.3	63.4	16.3	2.0
教職員	29.6	66.7	3.7	0.0

〈生徒・保護者の意見〉

分かりやすい先生と分かりにくい先生がいる。様々な工夫をした授業をされている先生が多いと思うのですが、もう少し工夫をしていただきたい授業もあるように感じています。

◇昨年度と比べると、三者とも肯定的割合が上がっています。また今年度中に生徒一人ひとりにタブレットが配布されます。これを機にICT機器も活用しながら、創意工夫を凝らした授業が展開できるよう、研究を推進してまいります。

4. 学校は、基礎学力の定着に向けた取り組みを行っている

%	A	B	C	D
生徒	56.2	39.4	3.8	0.6
保護者	17.7	62.5	18.4	1.4
教職員	40.7	59.3	0.0	0.0

〈生徒・保護者の意見〉

教科によってばらつきがあり、一概に評価ができない。テスト結果の順位や平均点を教えてほしい。

◇テストの結果については、学習の記録と併せて分布票を配布させていただいております。そちらを参考にしてください。なお、基礎学力の定着に向けた取り組みとして、今年度は朝学習を実施し、評価にも反映させながら基礎基本の徹底を図っています。

5. 学校は、命の大切さや思いやりの心など、豊かな心を育てようとしている

%	A	B	C	D
生徒	63.2	30.4	5.8	0.6
保護者	24.4	65.1	9.2	1.4
教職員	40.7	37.0	22.2	0.0

該当意見なし

◇昨年度より引き続き、本校は「人間尊重」を基盤とし、生徒の人権が尊重される学校づくりを目指しています。しかし、教職員による評価が昨年度よりも低い結果（-13%）でした。取り組み充実させていく余地がまだまだあると考えます。学級活動や学校行事などの学校生活全般において、人と人との関わりを通して豊かな心を育てていきたいと考えています。

6. 生徒は規律正しく、落ち着いた学校生活を送っている

%	A	B	C	D
生徒	44.9	44.3	9.3	1.4
保護者	35.4	53.2	11.1	0.3
教職員	40.7	59.3	0.0	0.0

該当意見なし

◇生徒たちは概ね落ち着いた学校生活を送っているようですが、10人に1人が学校生活に何らかの不安を感じているという結果になりました。教育相談や日々の生活の中での声かけなど、よりきめ細やかな指導を心掛け、すべての生徒にとって学校が安心して過ごせる場になるよう努めていきます。

7. 先生は、生徒のことをよく理解して、適時・適切に指導している

%	A	B	C	D
生徒	50.1	40.9	7.8	1.2
保護者	23.1	59.9	14.6	2.4
教職員	33.3	63.0	3.7	0.0

〈生徒・保護者の意見〉

生徒によって対応が変わることがある。一部の先生の偏った言動があるよう。担任の先生とのやり取りをきっかけに先生を信頼し、安心して学校生活を送ることができているように感じます。

◇昨年に引き続き「教師の言動について」の意見をいただきました。真摯に受け止め、教師自身が自らの言動を振り返り、生徒たちと心通うような接し方を考えていきます。また保護者の皆様が安心してお子様を学校に送り出せるような信頼される学校づくりに努めてまいります。

8. いじめや暴力がなく、生徒は安心して学校生活を送っている

%	A	B	C	D
生徒	68.8	26.2	4.4	0.6
保護者	32.2	56.6	8.8	2.4
教職員	18.5	81.5	0.0	0.0

〈生徒の意見〉

いじめのことだが、部活動内、生活などでのいじめはどう対応するのか。

◇すべての生徒にとって学校は安心できる場でなくてはならないと考えます。そのため“いじめ”はいつでもどこでも誰にでも起こる問題として捉え、学校いじめ対応チームが中心となり、生活アンケートや教育相談だけではなく、日々の生徒とのかかわりを通し、あらゆる手段でいじめを早期発見し解決できるように努めていきます。また、未然防止の取り組みや、いじめ対応研修の充実も図っていきます。

9. 生徒の個性を大切にして、生徒一人ひとりに活躍の機会と場がある

%	A	B	C	D
生徒	53.9	37.7	6.4	2.0
保護者	23.1	54.8	20.1	2.0
教職員	29.6	63.0	7.4	0.0

〈生徒の意見〉
個性を生かしているか疑問

◇教育活動全般において生徒の個性を尊重し自尊感情を感じさせる取り組みが重要であることは言うまでもありません。今後も学校行事や特別活動等の機会を通して「みんなから認められ共感され、大切にされている」という思いをもたせる活動を大切にしていきます。

10. 教育活動や学校行事などの時期や内容は、適切である

%	A	B	C	D
生徒	67.2	28.4	3.8	0.6
保護者	39.5	53.4	7.1	0.0
教職員	33.3	51.9	14.8	0.0

〈保護者の意見〉
この状況の中で行事の開催はありがたいと思っています。ただし、定期テスト等テストの期間にしわ寄せがきてしまったと思いました。

◇コロナ感染症の影響で、学校行事の大幅な変更や中止を余儀なくされました。その中でも、修学旅行や体育大会、文化祭などは、生徒にとって特に意義のある学校行事にとらえ、実施させていただきました。学校行事とテストの兼ね合いを考えた結果、学校としても苦渋の決断でありました。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。また「PTA活動の簡素化」を望む意見も寄せられていましたので、本部役員の皆様にお伝えしています。

11. 生徒の部活動は、楽しく充実している

%	A	B	C	D
生徒	65.5	26.4	6.4	1.7
保護者	38.2	45.4	12.6	3.8
教職員	29.6	59.3	7.4	3.7

〈生徒・保護者の意見〉
土日の連続した部活動。指導の仕方に何度か疑問を持つことがありました。顧問の言動に心を痛めている生徒が複数います。

◇顧問の言動や指導に対して、数多くの意見をいただきました。特に厳しく指導する顧問の本意が生徒には十分届かず、「意見の押し付け」になっている等の指摘をいただいています。中には指導の域を超えた言動があるという、ご指摘までありました。真摯に受け止めて今後の指導に当たっていきます。また、三田市部活動ガイドラインに沿った形で、部活動運営に努めてまいります。

12. 学校は、安全指導や健康管理に努め、安全で安心した学校生活が送れている

%	A	B	C	D
生徒	69.0	28.4	2.6	0.0
保護者	44.7	50.2	4.7	0.3
教職員	48.1	40.7	11.1	0.0

〈保護者の意見〉
学校内では気温によってブレザーを脱いでセーターになってもよいのではないのでしょうか。体調管理がしやすいと思います。

◇本校では、生徒の安全・安心を第一に考え学校運営を行っているところです。ブレザーについては、現在、生徒指導委員会が生徒会役員と協議検討中です。学校生活の決まりを教師が押し付けるのではなく、生徒の健康管理を第一に、生徒とともに考えて決定していきます。

13. 施設・設備の整備や環境美化に努めていて、快適な学校生活が送れている

%	A	B	C	D
生徒	65.2	31.9	1.7	1.2
保護者	42.6	54.1	3.4	0.0
教職員	29.6	70.4	0.0	0.0

〈保護者の意見〉

大改修をしたこともあり、トイレ環境はとても良い。生徒たちもこのまま綺麗な状態を保ちたいと掃除も丁寧に行っているようです。今後もその気持ちを大切にしてほしいです。

◇生徒の日々の清掃活動等を評価いただき、ありがとうございます。なお、施設・設備の整備、環境美化については学校配当予算との関連がありますが、予算だてを行い快適な環境の整備に努めます。また、本校では毎月1回、施設・設備の安全点検を行い適宜施設の安全管理にも努めています。

14. 生徒は、楽しく充実した学校生活を送っている

%	A	B	C	D
生徒	67.2	27.2	4.9	0.6
保護者	36.1	52.0	9.8	2.0
教職員	14.8	85.2	0.0	0.0

〈保護者の意見〉

転地学習を実施しなかったことについて、保護者、生徒ともに説明がなかったように思います。生徒に対してはきちんと説明したほうが良いのではないかと思います。

◇生徒が、楽しく充実した学校生活を送れるようにすることは重要です。「A」と「B」を合わせた割合をみると全体的には概ね良好と捉えられますが、個々の生徒を見てみると課題もあります。学校生活を「楽しく充実している」と感じていない生徒に、今後も寄り添い関わっていきます。またいただいたご意見については生徒・保護者への連絡など、今後適切に対応してまいります。

15. 学校の教育活動は、全体的に見て満足できる状態である

%	A	B	C	D
生徒	58.0	36.5	4.9	0.6
保護者	29.1	57.8	11.5	1.7
教職員	37.0	59.3	3.7	0.0

〈保護者の意見〉

試験の日程の短さ、問題の難しさ、平均点の悪さは検討されているのか。1人ひとりの自己肯定感を損なう言葉について。不登校の子が増え、生徒たちが不安に思うことへの学校の対応。

◇昨年度と比較すると三者ともA Bの割合が増加しました。しかし、ご意見にもありましたが、教職員の言動が子どもに与える影響は多大です。そのことを肝に銘じ、自らの言動を振り返りながら一層の生徒理解に努め、保護者の皆様と連携しながら個々の生徒の特性に応じた指導を行っていきたくと考えます。ご協力をお願いいたします。

総括

経年比較をすると、今年度はコロナの影響があり「質問項目2（学校開放の機会）」は三者とも肯定的回答が減少しましたが、多くの質問項目で肯定的回答の割合が増加した結果となりました。しかし肯定的回答が増加したとはいえ「質問項目9（個性尊重、活動機会の提供）」に対する保護者の数値はまだまだ低いと考えます。また、教師の言動を中心とする生徒指導体制が本校の大きな課題となっています。いただいたご意見を真摯に受け止め、生徒たちが生き生きと学校生活を送ることができるよう、一層信頼される学校づくりに努めてまいります。

教職員からは業務改善及び勤務時間の適正化を求める意見がありました。教職員の多忙化を解消することは、生徒に向き合う時間が増えることに通じます。また、教職員自身が生き生きとした姿で生徒たちの前に立つことが、生徒の健やかな育成にもつながっていきます。来年度に向けて勤務時間の適正化にも積極的に取り組んでいきますので、何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。

*「アンケート」を通しての貴重な意見は、全教職員で共有するとともに、学校運営の改善に活かしていきます。ご協力ありがとうございました。